

令和4年度 事業報告

社会福祉法人 浄蓮福社会

浄蓮寺保育園

□ 法人本部区分

(1) 理事会開催

開催日	審議事項	報告事項
令和4年6月12日	<ul style="list-style-type: none">・令和3年度事業報告・令和3年度監事監査報告・令和3年度決算書類承認・令和3年度財産目録承認・給与規定改定について・こども園移行・定員について・定時評議員会の招集について	<ul style="list-style-type: none">・職務執行状況
令和4年9月11日	<ul style="list-style-type: none">・理事長退任について・後任理事候補について・評議員会の招集について	
令和4年10月1日	<ul style="list-style-type: none">・理事長選任について	<ul style="list-style-type: none">・評議員会報告
令和4年11月9日	<ul style="list-style-type: none">・物品購入について・ICT化に係る費用について・旅費支給規程の改正について・認定こども園の名称について	
令和5年1月30日	<ul style="list-style-type: none">・指導監査報告について・大規模改修調査について	<ul style="list-style-type: none">・職務執行状況
令和5年3月15日	<ul style="list-style-type: none">・令和4年度補正予算について・令和5年度人事について・令和5年度事業計画について・令和5年度期首予算について	

(2) 評議員会開催

令和4年6月26日	<ul style="list-style-type: none">・令和3年度事業報告・令和3年度監事監査報告・令和3年度決算書類・財産目録承認
令和4年10月1日	<ul style="list-style-type: none">・理事長等退任に伴う理事・監事の選任について

(3) 監事監査実施 令和4年6月4日

(4) 指導監査(安全重視型)の結果(令和3年度事業に係る監査の結果)

令和4年12月15日

- 児童処遇
 - ・常備薬の使用期限の確認等の管理をきちんとすること。
 - ・ホール横の下駄箱の上部の天板が外れているので、安全の為、補修すること。
- 施設運営
 - ・育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の改正を踏まえて、育児・介護休業等に関する規程の改正を行うこと。(産後パパ育休制度の創設等)
 - ・休暇届に届出日の記載および休暇簿に残日数の記載をすること。
 - ・時間外勤務指示簿に実績を記載すること。
 - ・改姓した職員の保育士証の書き換え手続きを対象職員に促すこと。
 - ・労働者名簿に退職日の記入をすること。また、退職届の受理を確実にすること。
- 経理
 - ・決算承認の理事会は、定時評議員会開催日の2週間前の日より前に開催すること。
 - ・会計処理に使用する勘定科目は、正しいものを使うこと。
- 安全管理
 - ・アレルギー対応の児童のトレイや食器に、視覚的に区分できるよう配慮すること。
 - ・午睡のチェックで、特に0歳児のチェック時間を、再検討すること。それに伴い、チェック票の簡素化も検討すること。

□ 施設区分

(1) 職員配置

職員数 30名

園長1 主任保育士1 副主任保育士1 保育士20 (内9名は非常勤)

栄養士1 調理員3 (内1名非常勤) 事務員1 用務員1 (非常勤) バス乗務員1 (非常勤)

(2) 入所児童数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
令和4年 4月1日	(1) 5名	(0) 13名	(0) 10名	(0) 16名	(0) 16名	(0) 15名	(1) 75名
5月1日	(1) 5名	(0) 13名	(0) 10名	(0) 15名	(0) 16名	(0) 15名	(1) 74名
6月1日	(1) 5名	(0) 13名	(0) 10名	(0) 15名	(0) 16名	(0) 15名	(1) 74名
7月1日	(1) 5名	(0) 13名	(0) 10名	(0) 15名	(0) 16名	(0) 15名	(1) 74名
8月1日	(1) 6名	(0) 13名	(0) 10名	(0) 15名	(0) 16名	(0) 15名	(1) 75名
9月1日	(1) 6名	(0) 13名	(0) 10名	(0) 15名	(0) 16名	(0) 14名	(1) 74名
10月1日	(1) 6名	(0) 13名	(0) 11名	(0) 15名	(0) 16名	(0) 14名	(1) 75名
11月1日	(1) 6名	(0) 13名	(0) 11名	(0) 15名	(0) 15名	(0) 14名	(1) 74名
12月1日	(1) 6名	(0) 12名	(0) 11名	(0) 15名	(0) 15名	(0) 14名	(1) 73名
令和5年 1月1日	(1) 6名	(0) 12名	(0) 11名	(0) 15名	(0) 15名	(0) 14名	(1) 73名
2月1日	(1) 6名	(0) 12名	(0) 11名	(0) 15名	(0) 15名	(0) 14名	(1) 73名
3月1日	(1) 6名	(0) 12名	(0) 11名	(0) 15名	(0) 15名	(0) 14名	(1) 73名
計	(12) 68名	(0) 152名	(0) 126名	(0) 181名	(0) 187名	(0) 173名	(12) 887名

() 北九州市より受入数

(3) 補助金等

令和4年度 補助金

直方市保育環境改善対策事業

(新型コロナウイルス感染症対策支援) 500,000円

直方市(延長保育事業特例措置分)

新型コロナウイルス感染拡大防止対策事業 250,000円

直方市延長保育促進事業 300,000円

直方市障害児保育事業 6,543,600円

直方市多子世帯給食費補助金 193,500円

直方市保育所等物価高騰対策費補助金 65,025円

直方市給食副食費無償化補助金 819,000円

直方市保育所等給食支援費補助金 502,950円

直方市ICT化推進事業費補助金 750,000円

(4) 施設及び設備の整備実績

(備品等)

・給食室消毒保管庫	1台	429,000円
・給食室スチームコンベクションオーブン	1台	763,231円
・ガステーブル	1台	111,946円
・タブレット型ノートパソコン	6台	907,500円
・ノートパソコン	2台	430,100円
・災害時仮設テント	1台	185,900円
・コロナFF式縦型石油暖房機	1台	429,000円

(工事等)

・LED照明工事		781,000円
・無線LAN設備工事		737,440円

(5) 職員会議及び職員研修等の実績

- ・職員会議 月1回
- ・園内研修 講師を招き「保育ソーシャルワーク」、「上手な褒め方・しかり方」について学ぶ年齢別に研修
- ・キャリアアップ研修 4名受講
- ・福岡県子どものバス送迎における安全管理徹底のための研修
- ・救命講習（直方市消防署）

(6) 要望・苦情等に関する報告

- | | | | |
|----------------|-------|----|----|
| 意見・要望等受付担当者 | 主任保育士 | 高石 | 未応 |
| 意見・要望等の相談解決責任者 | 園長 | 小山 | 唯信 |
| 第三者委員 | | 栗山 | 一 |
| 第三者委員 | | 宇野 | 紀子 |
- ・令和4年度の苦情解決の状況について
苦情、第三者委員への申し立てはなかった。

(7) 事業報告

1.入所児童数について

保育士不足、少子化により、受入こども数は減少している。

2.研修会について

島崎創造保育研究会の保育研修に取り組んでいる。令和4年度については福岡県保育協会主催の研修会・直方市保育協会の主催する研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の見地からオンラインでの開催となった。

3.安全管理について

消火・避難訓練 毎月1回実施

水害、地震、不審者防犯訓練 1回ずつ実施

4.健康管理について

在園児 内科健診・歯科検診 年2回実施

尿検査 年2回実施

職員 健康診断 年1回

給食・乳児担当職員検便 月1回

5.地域交流について

例年、老健施設や介護施設デイサービス等の老人福祉施設入所者との交流事業を行っているが、新型コロナウイルス感染拡大防止の見地から、令和4年度についても、中止となった。

6.事業報告総括

令和4年度の自己評価まとめ・反省

1.保育の計画性について

全ての年齢でも4月当初に創造保育の理念研修を行い、1年間の保育の大きな流れをイメージして、それにより子どもの成長発達も学べている。その観点では大きな問題はなく、保育方針に関しては、信頼できる方法論を持っていることの強みが充分発揮できている。

今年度も前年度に引き続き、クラスによっては発達に問題があると思われる子が多数在籍しているクラスがあり、当園の採用している保育形態で対応ができるかどうか危惧されたが、職員間のチームワークで何とか乗り切った。

また、深刻な保育士不足にも直面している現在においては、やむを得ない手段として派遣職員の採用を行っている。たまたま質の良い派遣保育士に巡り合っているので、なんとか日常の保育の充実は保たれているが、今後は、昨年同様、保育の内容、行事、活動量等の見直しが必要となると思われる。新年度に向けて新たに正規職員の保育士の補充を行うことができた。

2.保育のあり方、乳幼児の対応

保育、乳幼児への関わりについては、各保育士が園の方針を理解し、それに沿って熱意を持ち、努力している姿を確認できた。

コロナ禍で3年以上が経過し、その中での生活にも慣れてきた。ウイルスの変異か、異常に強い感染力を示し、園でもその対応に追われた。1年に数度の爆発的な感染があり、夏と冬に園内での感染が確認され、コロナ禍で初めてウイルス感染に伴うクラス閉鎖を経験した。

園での行事は、年度前半はほとんど実施されず、天候不順もあって毎年恒例のキャンプは10月に順延され、運動会や生活発表会は保護者のみの人数制限・入替制で何とか実施された。

子ども達の生活の場では空気清浄機やオゾン生成機の活用で、普段の生活が保障されるが、未だ数々の制限が多い。その中で保育士は精神的な消化不良、残念な心持を抱え続けて保育を行ってきた。

一方で、当園のメリットである屋外活動は十分に行われ、子ども達の成長も著しいものがある。

ベテランの保育士は、コロナ禍にあっても、子ども達の成長を願い、できることを確実に行う姿勢で日々の保育に取り組んでいる。子ども達も例年に比べても遜色なく育ってくれた。

乳幼児については、子どもの数が比較的少なく、保育士の数が少ないと悩みながらも、ベテランと若手がうまくチームワークを組み安定的な対応ができて、子ども達の姿も良く落ち着き、情緒の安定した姿が見られた。

3.専門家としての資質

若手の保育士が先輩の保育士に導かれ励まされながら、順調に育っている姿が見られ、子供たちの安定した日常を保つ力がついてきているように思える。先輩の保育士は、最近目に付く発達に問題を抱えている子の多さに頭を悩ませつつも、何とか保育を成立させ、子どもの成長・発達の確信を得ようと奮闘している。

ここ近年、クラスによっては子供たちの約半数が何らかの発達についての問題を持っているように見受けられる。そうした状況で一人一人の状況を把握し、理解に努めながら日々の保育を行っている主任以下ベテランの保育士達の保育に対する姿勢を中堅・若手の保育士に着実に伝えていく必要を感じる。

4.保護者との対応

保育園全体の雰囲気は明るく、子ども達はのびのびと遊び明るい様子は伝わってくる。保護者との面談を年2回に増やした効果が発揮され、また日ごろの送迎の際のコミュニケーションも主任以下、ベテランの保育士を中心としてうまく行われているように見える。若手の保育士もベテランとの間で順調に育っている姿が見られ、信頼・安心される保育士としての対応ができているようだ。

新型コロナウイルス感染症の蔓延と言う非常事態の下での生活が3年目を迎え、保護者の間でも保育園の置かれた状況を理解してもらえ、空気が生まれており、コロナ禍での日常が定着し安定しているように感じられる。

コロナウイルスの弱毒化、ワクチン接種の普及で、社会生活の中での様々な制限の解除が見据えられている。予定では次年度5月ごろのコロナウイルスに対する制限解除が予定されているが、一刻も早い通常生活への回帰が望まれる。